

第124回森で遊ぶ会・実施報告書

1. 実施日時 平成26年1月19日(日) 10:00 ~ 14:30
2. 実施場所: 桶ヶ谷沼、鶴が池(磐田市)
3. 参加インストラクター
担当: 小久保、高橋 アシスト会員: 青野、井上、内野、杉山、藤田
4. 一般参加者 合計24名 (大人21、子供3)
5. 募集方法 クチコミ、HP、県環境学習フェスタパンフ、磐田市広報に掲載など
6. 内容

遠州名物の風が強かったが、よく晴れた一日になった。「自然豊かな照葉樹林を森林インストラクターと歩いて、冬鳥も見ながら樹木観察をしませんか?」という触れ込みで、24名の参加者が集まり賑やかな観察会になった。クチコミで勧誘の参加者が多かったが、全体の半数程度は我々の森で遊ぶ会には初参加という方々だった。他方で、「前回に続いて」という方も数人おられた。樹木と冬鳥の抱き合わせという観察会は他にあまりないので、その点も新鮮に受け止めていただけたのだろう。

桶ヶ谷沼のビジターセンターに集合してもらい、最初に今日のコースや見所につき簡単なオリエンテーションを行った。参加者には、桶ヶ谷沼で観察できる樹木と野鳥について図入りで解説した冊子を配布した。人数が多いので全体を3班に分け、それぞれに2~3名のインストラクターがついて観察に出発した。前回同様、西回りのコースで桶ヶ谷沼をほぼ一周し、昼食を挟み更に隣接する鶴が池にも脚を伸ばした。この時期、落葉樹には殆ど実も葉も残っていないが、「この木何の木?」を冬芽や樹皮で言い当てるとい技も披露できる。またここは常緑樹も多く更に冬鳥にも会えるということで、こういう時期設定にした。

樹木観察では、それぞれの班ごとにそのグループの特徴に見合った案内ができたようだ。

- A班: 初参加の人ばかりなので、シャシジャンボの実を味わってみたり、タラヨウの葉に文字を書いたり、これまで知らない樹木を知る面白さを体験してもらった。また「なぜ、ツバキの葉は厚くてテカテカしているの?」の解説などを通じて、植物の「生きる知恵」の奥深さについて知ってもらった。
- B班: リピータの方が多く、少し詳しい樹木観察になった。例えば、参加者が「これ、なーに?」と目ざとく見つけたイヌツゲの「玉」について、「それはイヌツゲタマバエの虫コブです」、「中を見てみますか?」、「見せて、見せて」、「あ、本当にムシが沢山いる!」など。またミズバイやヒメユズリハの「いやな臭い」を嗅いでもらって、「これはこれで、悪くないじゃん」と意外な感想を聞いたり、樹木クイズに答えてもらったりと、樹木との触れ合いを楽しみながら新しい発見のできる道中になるように心がけた。
- C班: 植物に興味があって比較的詳しいという参加者が多かったので、じっくりと時間をかけて樹木の説明を行った。特に冬芽による樹木の同定など、普段なかなか聞けないであろう説明を興味深く聞いてもらった。例えば、ハゼノキ、ヤマハゼ、ヌルデの3種は葉があれば識別は容易だが、これらを冬芽と葉痕でどう見分けるかなど、この時期ならではの解説に耳を傾けてもらった。

もう一つの目的、冬鳥観察についてはちょっと残念な結果になった。目玉のコハクチョウが姿を消してしまったこと、全般に山の鳥が何故か少なかったこと、また観察舎に冷たい風が吹き込んでゆっくりと観察ができなかったこと等である。それでもフィールドスコープでやや珍しいホシハジロを見てももらったり、ヨシガモの美しい姿を楽しんでももらったりして、「初めてで、楽しかった」という声を耳にすることができた。観察できた鳥はマガモ、コガモ、オナガガモ、カルガモ、ヨシガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、オオバン、アオサギ、ダイサギ、カワウ、ノスリ、トビ、キセキレイ、エナガ、ヒヨドリなどだった。

桶ヶ谷沼で 点描



沼入口の木道を進む



この木、な～に？



照葉樹に囲まれた山道を行く

ウワミズザクラ (バラ科) 落葉高木

●葉は互生し、サクラ類に共通の形。葉のつけ根に蜜腺もあるが、小さいので分かりにくい。葉柄は短い。

●白いブラシ状の花を枝先につき出すようにつけ、花期にはそれが目立つ。実は赤から黒色になって熟し、食べられる。また、つぼみや若い実の塩漬は、「杏仁香」として知られる。

●樹皮には横に長い皮目があるが、他のサクラほど目立たない。古い枝にはゴツゴツと落枝痕が目立つ。

●北海道から九州まで、全国の山野に普通に生える。

●「上溝桜(ウワミズザクラ)」の名は、古代の亀甲占いで溝を掘る板に使われたことに由来する。



花(花穂)、果実、葉、落枝痕と側芽、樹皮

冊子の樹木解説



陽だまりで、お弁当タイム

隣の鶴が池で



遠くの木を見るのにも、双眼鏡は役立つ



へ～エ、ヨシガモってきれいだね



ヨシガモ



こちらはマガモのご夫婦